

札幌の冬の魅力、
子どもたちに届けましょう!

雪学習 NEWS

札幌市内
小学校
教諭向け

Since 2016

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のシーズンを中心に、定期的にお届けします。

No.30

冬を楽しむ

皆様、あけましておめでとうございます。2021年の雪学習NEWSは「冬を楽しむ」から始まります。雪国だからこそできる最高のひと時。家族で外に出て、冬を思いぎり楽しみませんか?

札幌の山々も雪深くなりました。雪景色をみると思わず外に飛び出したくなる方も多いのではないのでしょうか。3学期からは小学校の体育の学習で「スキー学習」が始まります。withコロナの時代の中、どのようにウィンタースポーツに親しんでいけばよいのでしょうか?今回はスキー場の感染症対策について調査しました。

体育

今だから、雪国の文化を楽しんでほしい

気になるスキー場の感染症対策について聞いてきました。そこには、雪国の文化を守り、広げようとするスキー場の方々の熱い想いと安心できる対策計画がありました。

🔍 スキー場ではどのような感染症対策を行っていますか?

ご来場されるみなさんが安心してウィンタースポーツを楽しむことができるように、60名を超えるスタッフすべての検温などの体調管理を毎日行い、スタッフはマスクをして業務にあたるようにしています。施設内にも各所に消毒薬を配置し、ロッジやトイレなどの利用も3密を回避し距離をとれるようにしたり、順路が交錯しないように工夫しています。また、体調のすぐれない方を受け入れる救護室は別の部屋を用意し、必ず検温をしてから利用していただくようにしています。



札幌藻岩山
スキー場を
管理している

りんゆう観光 藻岩山事務所 所長
高橋 智樹さん



🔍 気になるリフトはどのように利用すればよいのでしょうか?

リフトの人数の制限はしません。理由は、藻岩山スキー場のリフトは全てフードカバーなしの完全屋外であり、乗車時間も10分以内の短時間だからです。さらに、制限しないことでリフト乗車の待ち時間が長くないことにもつながると考えています。しかし、乗車中やリフトに並ぶ時などは極力話さないなどのお客様の配慮が必要です。



🔍 スキー学習を受け入れる際に気を付けていることはありますか?

毎年、多くの小学校にスキー場を利用していただいています。多い日は一日に3,000人を超えることもありました。今年も、各学校で利用する日にちを分散していただいていることから、多くても1,500人程度です。スキー場では、最新の利用者数の情報を学校に提供したり、多くなることが予想される日に利用される学校には調整のご連絡をしています。また、バスの利用も多くなることから事故防止などの安全対策も行っています。また、荷物の置き場なども3密を防ぐように場所を限定しています。各学校におかれましては、ご利用方法を工夫したり、学習の際の約束を徹底し安全に利用していただければと思います。

高橋さんより

雪は北海道の魅力。
withコロナ時代だからこそ
子どもたちには元気いっぱい
運動してほしい。



室内では、運動や遊びもなかなかしづらい部分もあると思います。ウィンタースポーツは外での活動です。子どもたちには、元気いっぱい運動して欲しいです。毎年、多くの小学生を迎えるたびに、少子化と言うけどこんなに子どもがいるのかと嬉しくなります。藻岩山スキー場は昨年60周年を迎えました。お孫さんを連れてスキーを楽しむお客様から、お子さんとスキー場をよく利用したことを聞くことが3世代に渡って施設を楽しんでいただいていることに胸が熱くなりました。残念ながら毎年行っている花火のイベントは中止になりましたが、スタッフ一同知恵を絞り、様々な企画を進めています。ぜひ、2021年も藻岩山スキー場に期待していただきたいと思います。



なるほど!札幌の冬

～朝の会で使える小ネタ～
実物投影機で大きく映そう!!



❄️ 雪積み競争

5分間で、一番高く雪を積み上げた方が勝ち!途中でくずれてしまったら、そこからやり直します。とにかく高く? それとも、頑丈に…?



❄️ 片手に雪だるまりレー

ルールは簡単。手の上に雪だるまを乗せ走ります。味方はたくさん雪だるまをストックしておき、落としたりすぐに補充してあげましょう!

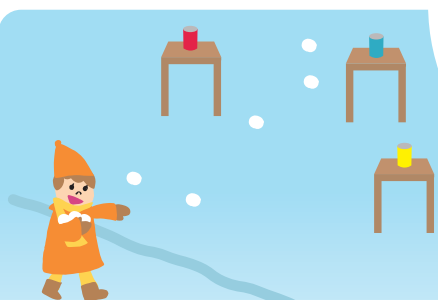


学校でも、冬を楽しむ!

いろいろな制限があるwithコロナ時代。でも、札幌には雪がある!こんな時代だからこそ、雪を生かして思いっきり楽しんでみませんか?休み時間にもできそうですね!

❄️ 雪玉的当て競争

空き缶などを用意して並べ、だれが一番最初に当てられるか競争です!距離などでレベルを変えると盛り上がります。



❄️ 雪中しっぽとりおに

ズボンにスズランテープなどでしっぽをついたら準備OK。たくさんしっぽをとった人が勝ちです。いつもは足が速く追いつけない人にも、雪の上なら追いつけるかも?!



終わった後は、しっかり手洗いも忘れずに!

Q&A

Q.札幌市はすべての道路を除雪しているの?

A. 札幌市では、市が管理する道路延長約5,500kmのうち、98%にあたる約5,400kmを除雪しています。

除雪機械は幅8m以上の道路(約4,500km)では作業可能ですが、幅8m未満の道路(約1,000km)では狭くて作業できない場合があります。工夫して作業するようにしていますが、どうしても除雪できない道路が残ってしまうのが実情です。(ということで、すべての道路ではありません)

また歩道は、歩道用除雪機が入ることのできる幅2m以上の歩道のうち、歩行者が多い駅や公共施設の周辺などを中心に除雪しています。現在は、幅2m以上の歩道延長約4,000kmのうち、75%にあたる約3,000kmが対象となっています。



※北海道開発局が除雪している国道は上記延長にカウントしていません。

授業をサポートする資料は、ここ!



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能!

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

札幌雪学習 🔍 検索

雪学習 HPIはこちら➡



【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141